

議案第57号関連資料

風しん対策の実施状況について

2018年秋からの風しん流行を受け、2019年度から3年間の時限措置で、定期接種の機会がなく抗体保有率の低い世代の男性（40～57歳）を対象に「風しん第5期定期接種」が導入されました。明石市では、国の特定感染症検査等事業の「妊娠を希望する女性の風しん抗体検査」とあわせ2019年4月より実施し、見込みより多くの方に受けていただいたことから補正予算を計上しようとするものです。

1 風しんとは

「三日はしか」とも呼ばれ、多くの方は短期間で治りますが、妊娠初期の女性が風しんにかかると出生児が、難聴や白内障、心臓の病気等を持った「先天性風しん症候群（CRS）」を発症する恐れがあります。

風しん報告数 ※（）内は先天性風しん症候群患者数

	2017年	2018年	2019年 ※10/2時点
全国	93人	2,917人	2,210人（3人）
兵庫県	7人	51人	48人
明石市	0人	3人	2人

2 事業概要

(1) 風しん第5期定期接種

- ① 対象者 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性（約39,000人）
- ② 概要 風しん抗体検査を実施し、抗体価が低い場合のみ予防接種を実施。

(2) 妊娠を希望する女性等の風しん抗体検査

- ① 対象者 妊娠を希望する女性及び妊婦の同居家族 ※参考 2018年出生数：2,819人
- ② 概要 風しん抗体検査を実施。

3 実施状況（年間見込は9月までの実績を基に算定。）

		当初見込 (予算額)	年間見込 (見込額)	差
風しん第5期 定期接種	抗体検査	2,280件 (12,300千円)	6,480件 (36,757千円)	4,200件 (24,457千円)
	予防接種	1,140件 (1,900千円)	1,404件 (14,291千円)	264件 (12,391千円)
妊娠を希望する 女性等の 風しん抗体検査	抗体検査	708件 (3,800千円)	420件 (2,272千円)	△288件 (△1,528千円)
委託料計		18,000千円	53,320千円	35,320千円

4 補正予算額

36,000千円